■特長

この時計は、フルドットマトリクスを搭載し、動きのある多彩な表示を可能にしています。
- ルキア専用のデモンストレーション機能を搭載しています。
- おもな機能として、世界50都市の時刻を表示するワールドタイム機能、アラーム機能、ストップウォッチ機能、タイマー機能を合わせ持った多機能のデジタル時計です。、

また、暗闇でも表示が確認しやすいよう内部照明機能としてELバックライトを搭載しています。
※フルドットマトリクス液晶：マトリクス状（格子状）に配列した多数の点（ドット）の点滅の組み合わせにより数字・文字や形を表示する液晶。

1．時刻・カレンダー機能
- 2000年から2049年までの50年間、うるう年などの月末修正がいらない「フルオートカレンダー」です。
- サマータイム（夏時間）on/offを表示します。

2．ワールドタイム機能
- 世界50都市の都市名と現在時刻を瞬時に表示します。
- DSTのon/offを表示します。

＊DST（Daylight Saving Time）とは、サマータイム（夏時間）のことです。

3．アラーム機能
- 設定した時刻（時、分）で毎日報知するデイリーアラーム機能付です。
- アラーム音は、３種類あります。
- アラームのon／off（セット／解除）切り替えができます。

4．ストップウオッチ機能
- 最大９時間59分59秒99まで計測表示することができます。

(それ以上の計測では、10時間以上を無視して計測表示を行ない、ボタン操作にかかわらず、24時間で自動的にリセットされます。)
- 最初の1区間から100区間までのラップタイムは自動的に記憶（メモリー）することができます。

5．リコール機能
- ストップウオッチ機能で記憶したラップタイム、ラップ回数を表示することができます。

6．タイマー機能
- １分から60分までの１分単位で設定可能なフリータイマー付です。
- タイマー計測をスタートし設定時間が経過すると、チャイムにて報知をおこない引き続きタイマー計測を自動的に続行し、10回繰り返します。繰り返し回数も表示します。

7．システム機能
- アラーム音の選択ができます。
- コントラスト（明るさ）の調整ができます。

8．オートパネライト機能
- あらかじめ設定すると、どのボタン操作後も、約２秒間ライトが点灯します。(修正するときは除く。)

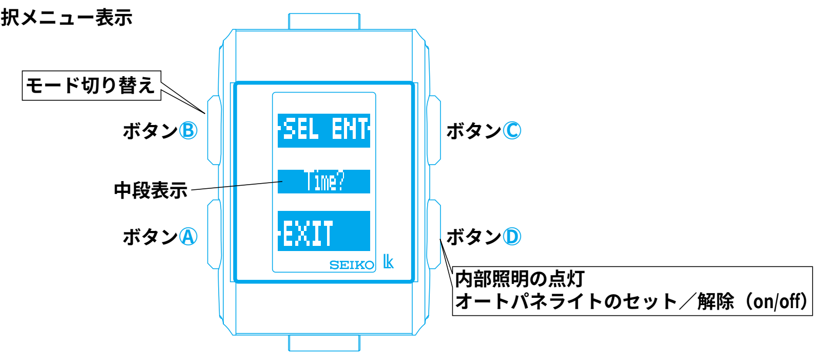
9．「内部照明（全面パネライト）機能」
- 専用ボタン操作により、どのモードでも１回押しで約３秒間点灯します。
- 物質に電圧をかけると光を放つ現象（＝EL）を利用した発光方式を採用しています。

※全面パネライト機能を使用して液晶部を光らせたときに、音がしますが、これは液晶部を発光させる部品が出す音であり、故障ではありません。
※エレクトロルミネッセンス（＝EL）の発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
[詳しくは、“エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）について”の項を参照ください。

10．デモンストレーション機能
- ルキア専用メッセージを表示します。
- ボタンⒷを約２秒間押し続けてください。

■ボタンの名称とモードの切り替え

（1）モード選択メニュー表示



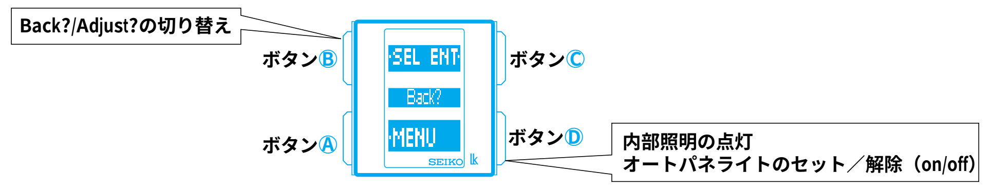
例：「時刻・カレンダーモード」表示

●ボタンⒷを押すごとに、中段表示は次の順序で切り替わります。

時刻カレンダーモード Time ? → ワールドタイムモード World ? → アラームモード Alarm ? → ストップウオッチモード Chrono ? → リコールモード Recall ? → タイマーモード Timer ? → システムモード System ?

※操作確認音がセットされていますとモード切り替えるごとに「ピッ」と鳴ります。
（操作確認音については、「時刻・カレンダーの合わせかた」を参照してください。

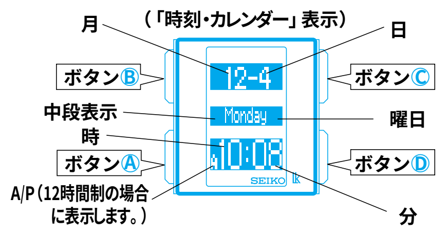
（2）モードメニュー表示
- 「時刻・カレンダー表示」、「アラーム表示」の場合、ボタンⒶを1回押すと、「モードメニュー表示」に切り替わります。



■時刻とカレンダーの合わせかた

- 現在時刻の表示にする場合、他の表示になっているときは、「時刻・カレンダー」表示にしてください。
- 「時刻・カレンダー」表示のときに、ボタンⒷを約２秒間押し続けると「ルキア専用デモンストレーション画面」状態になり、各モード表示をくり返しおこないます。止める場合は、ボタンⒶⒷⒸいずれかのボタンを押してください。

（1）ボタンの名称とはたらき



ボタン名	機能
ボタンⒶ	時刻･カレンダーメニュー表示への切り替え
ボタンⒷ	都市名の呼び出し
ボタンⒸ	報時及び操作確認音のセット／解除（on/off）
ボタンⒹ	内部照明の点灯 オートパネライトのセット／解除（on/off）

※ボタンⒷを１回押すと、中段の表示が曜日表示から都市名表示を約３秒間点灯し、再び曜日の表示にもどります。
ただし、都市名およびD.S.T（サマータイム）マークが一度に表示されない場合、２回スクロールした後、停止します。
停止時は可能な限り表示し、右端の文字がかける場合、右端の表示はしません。

（2）時刻・カレンダーの合わせかた

①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒷを１回押して、中段表示を「Adjust?」表示にしてください。
③ボタンⒸを１回押して、「Home都市名」が表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
④ボタンⒷを１回押すごとに次の順序で合わせたいところ〔点滅部（都市名点滅せず）〕を選ぶことができます。

※年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。
※都市名を「GREENWICH」にすると「D.S.T」の「on」または「off」は表示しません。
※「D.S.T」の「on」を表示させると、「 マーク」が点灯し、１時間進みます。

ボタンⒷを押すたびに修正箇所が替わります。

HOME（都市名） → D.S.T（サマータイム）のon/off → 秒 SEC → 分 MIN → 時 HOUR → 日 DATE → 月 MONTH → 年 YEAR → 12/24 h

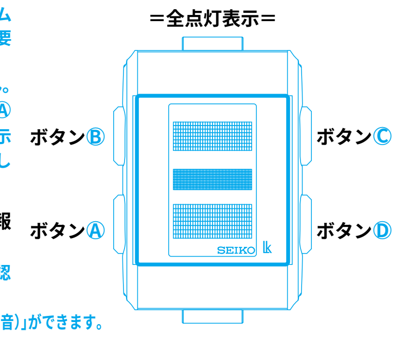
⑤ボタンⒷを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンⒸを押すと「00」に合います。
※秒表示が30～59秒のとき、ボタンⒸを、押すと1分繰り上がって「00」に合います。
※時刻合わせは、電話の時報サービス（TEL.117）が便利です。

⑥合わせたいところを点滅させたあと、ボタンⒸを１回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。
（「D.S.T」「秒」「12/24h」を除く。）
※ボタンⒸを押し続けると、早送りできます。

⑦「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンⒶを１回押して「時刻・カレンダー」表示にもどしてください。押し忘れた場合でも２～３分後には「時刻・カレンダー」表示へ自動的にもどります。

※カレンダーは、2000年～2049年までの年、月、日、曜がプログラムされていますので、この間の月の大小やうるう年でも修正する必要はありません。
※時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンⒸとボタンⒹが同時に押された状態です。その場合は、ⒶⒷⒸⒹいずれか１つのボタンを押して、「時刻・カレンダー」表示にもどしてください。つぎにあらためて、上記の①から合わせ直してください。

＝全点灯表示＝



（3）アラーム音の試し聴き（サウンドデモンストレーション）と報時ならびに操作確認音のセットと解除
※「時刻・カレンダー」表示でボタンⒸを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。
また、ボタンⒸとⒹを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き（セットされている音）」ができます。
※表示は、中段に表示します。

（報時します。）
Chime on
ボタンⒸ
ボタンⒹ
（on）表示
（報時しません。）
Chime off
ボタンⒸ
ボタンⒹ
（off）表示

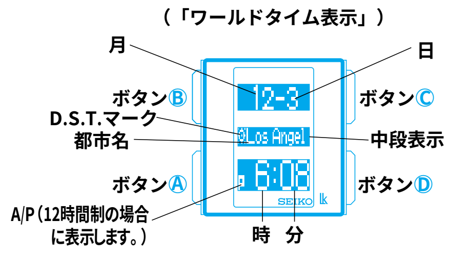
（4）オートパネライトのセットのしかた
ボタンⒹを２～３秒間押し続けるとごとにオートパネライトのセットと解除ができます。
※表示は、中段に表示します。

（セット）
Auto EL on
ボタンⒹ
（on）表示
（解除）
Auto EL off
ボタンⒹ
（off）表示

■ワールドタイムの使いかた

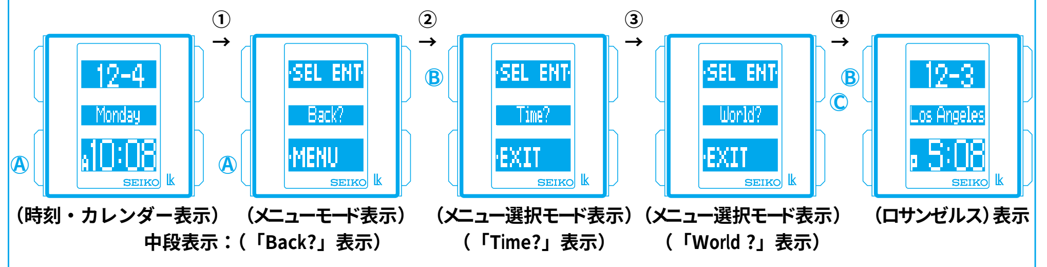
- ワールドタイムは、ローカルタイム時刻と日付、都市名、D.S.Tマーク（セットした場合）を表示します。
- 都市名およびD.S.Tマークが一度に表示されない場合、表示切換後から、２回スクロールし、停止します。
停止時は可能な限り表示し、右端の文字がかかる場合、右端の文字は表示しません。

（1）ボタンの名称とはたらき



ボタン名	機能
ボタンⒶ	モード選択メニューへの切り替え
ボタンⒷ	都市の選択
ボタンⒸ	サマータイムのセット／解除（on/off）
ボタンⒹ	内部照明の点灯 オートパネライトのセット／解除（on/off）

（2）ワールドタイムの使いかた
●「時刻・カレンダー」表示から「ワールドタイム」表示にする場合
例：東京が午前10時８分のとき、ロサンゼルスの現在時刻を調べる場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は、「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒶを１回押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒷを１回押して、中段表示を「World?」表示にしてください。
④ボタンⒸを１回押して、「ワールドタイム」表示にし、次にボタンⒷを押して、中段表示を「ロサンゼルス」表示にします。
※D.S.T,（サマータイム）を採用している場合は、ボタンⒸを１回押して、「 マーク」を点灯させてください。
時刻が、１時間進みます。



（時刻・カレンダー表示）　（メニューモード表示）中段表示：（「Back?」表示）　（メニュー選択モード表示）（「Time?」表示）　（メニュー選択モード表示）（「World ?」表示）　（ロサンゼルス）表示

（3）「時刻・カレンダー」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は、「May I help you?」のスクロール終了後、「World?」表示になります。
②ボタンⒷを押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒸを押１回押すと「時刻・カレンダー」表示になります。

（4）都市と標準時の比較表

GMTは、グリニッジ標準時を示しています。＋はGMTより進み、－は遅れを示しています。

都市名	都市名（日本語）	スクロール表示有	GMTとの時差	サマータイム有	都市名	都市名（日本語）	スクロール表示有	GMTとの時差	サマータイム有
GREENWICH	グリニッジ	－	＋00：00	－	BEIJING	北京	－	＋08：00	－
LONDON	ロンドン	－	＋00：00	●	CEBU	セブ島	－	＋08：00	－
PARIS	パリ	－	＋01：00	●	SEOUL	ソウル	－	＋09：00	－
AMSTERDAM	アムステルダム	－	＋01：00	●	TOKYO	東京	－	＋09：00	－
GENEVA	ジュネーブ	－	＋01：00	●	ADELAIDE	アデレード	－	＋09：30	●
ROME	ローマ	－	＋01：00	●	GUAM	グアム島	－	＋10：00	－
BERLIN	ベルリン	－	＋01：00	●	SAIPAN	サイパン島	－	＋10：00	－
ATHENS	アテネ	－	＋02：00	●	SYDNEY	シドニー	－	＋10：00	●
ISTANBUL	イスタンブール	－	＋02：00	●	GOLD COAST	ゴールドコースト	△	＋10：00	●
CAIRO	カイロ	－	＋02：00	●	NOUMEA	ヌメア	－	＋11：00	－
MOSCOW	モスクワ	－	＋03：00	●	WELLINGTON	ウェリントン	－	＋12：00	●
JEDDAH	ジェッダ	－	＋03：00	－	HONOLULU	ホノルル	－	－10：00	－
TEHRAN	テヘラン	－	＋03：30	●	TAHITI	タヒチ島	－	－10：00	－
DUBAI	ドバイ	－	＋04：00	－	ANCHORAGE	アンカレッジ	－	－09：00	●
MAURITIUS	モーリシャス島	－	＋04：00	－	VANCOUVER	バンクーバー	－	－08：00	●
KARACHI	カラチ	－	＋05：00	－	LOS ANGELES	ロサンゼルス	△	－08：00	●
MALDIVES	モルジブ諸島	－	＋05：00	－	DENVER	デンバー	－	－07：00	●
DELHI	デリー	－	＋05：30	－	CHICAGO	シカゴ	－	－06：00	●
DHAKA	ダッカ	－	＋06：00	－	MAIAMI	マイアミ	－	－05：00	●
BANGKOK	バンコク	－	＋07：00	－	NEW YORK	ニューヨーク	－	－05：00	●
JAKARTA	ジャカルタ	－	＋07：00	－	MONTREAL	モントリオール	－	－05：00	●
KUALA LUMPUR	クアラルンプール	○	＋08：00	－	CARACAS	カラカス	－	－04：00	－
SINGAPORE	シンガポール	－	＋08：00	－	BUENOS AIRES	ブエノスアイレス	○	－03：00	－
HONG KONG	香港	－	＋08：00	－	RIO DE JANEIRO	リオデジャネイロ	○	－03：00	●
BALI	バリ島	－	＋08：00	－	AZORES IS	アゾレス諸島	－	－01：00	●

※各国の時差、およびサマータイムは国の都合により変更する場合があります。
この表は、1998年８月時点の採用状況に基づいて作成してあります。
※○は表示切換後、必ずスクロールします。△はD.S.T.マークをセットした場合、スクロールします。

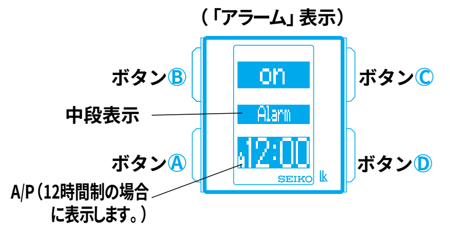
■製品仕様

（1）水晶振動数　・・　32,768Hz（Hz＝１秒間の振動数）
（2）精度　・・　平均月差±20秒（気温＋５℃～＋35℃において腕につけた場合）
（3）作動温度範囲　・・　－10℃～＋50℃
（4）表示内容
①時刻・カレンダーモード
時、分、（秒）、A/P（12時間制のとき表示）、（年）、月、日、曜、都市名
SEL、ENT、EXIT、Time ?、MENU、Back?/Adjust?、D.S.T.、「Reset sec」、「Set minute、hour、date、month、year」、12/24h、Chime、Auto　on/off、（サマータイムマーク）
②ワールドタイムモード
時刻（時、分）、A/P（12時間制のとき表示）、月、日、都市名、
SEL、ENT、EXIT、World ?、（サマータイムマーク）
③アラームモード
アラームセット時刻（時、分）、A/P（12時間制のとき表示）
SEL、ENT、EXIT、Alarm ?、MENU、Back?/Adjust?、Alarm、on/off、「Set alarm」
④ストップウオッチモード
リセットのとき：［0:00'00"00］
計測のとき　：計測時間、Run表示
ラップ計測のとき：ラップタイム時間、ラップ回数、LAP、Stop
SEL、ENT、EXIT、Chrono ?、Chrono、
⑤リコールモード
リコールのとき：ラップタイム時間、ラップ回数、LAP表示
SEL、ENT、EXIT、Recall ?、Recall、
⑥タイマーモード
タイマーセット表示、Run、Stop、繰り返し回数
SEL、ENT、EXIT、Timer ?、Timer
⑦システムモード
SEL、ENT、EXIT、System ?、System、MENU、Contrast/Alarm、コントラスト段階数、アラーム音No.、＋
（5）表示体・・FE型ネマチック液晶
（6）使用電池・・小型リチウム電池　SB－T17
（7）電池寿命・・約２年
（8）電子回路・・C-MOS-LSI　１個　バイポーラIC　１個
※上記製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■アラームの使いかた

- 設定した時刻（時、分）で毎日報知するデイリーアラーム機能付です。
- アラームのon/off（セット／解除）切り替えができます。
- 設定した時刻は、「時刻・カレンダーモード」の時間に合致したとき報知します。
- アラーム音は３つの中から選択できます。（「システムモードの使いかた」を参照ください。）

（1）ボタンの名称とはたらき



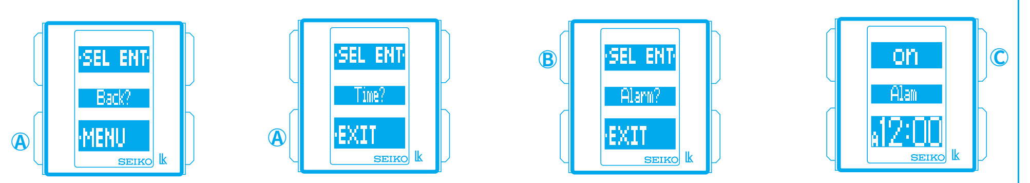
ボタン名	機能
ボタンⒶ	アラームメニュー表示への切り替え
ボタンⒷ	無機能
ボタンⒸ	アラームセット／解除（on/off）
ボタンⒹ	内部照明の点灯 オートパネライトのセット／解除（on/off）

デイリーアラーム：毎日１日１回設定時刻にアラームが鳴る機能（24時間制）

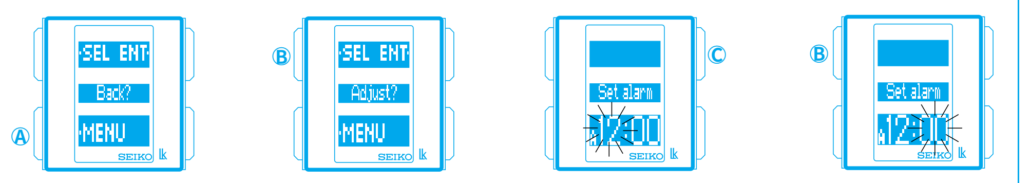
（2）「時刻・カレンダー」表示から「アラーム表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒶを１回押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒷを押して、中段表示を「Alarm?」表示にしてください。
④ボタンⒸを押１回押すと、「アラーム」表示になります。

（3）アラームの使いかた
例：「時刻・カレンダー」表示からアラーム時刻を「AM6時30分」にセットする場合

①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒶを１回押し、「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒷを押し、中段表示を「Alarm?」表示にしてください。
④ボタンⒸを押１回押して、「アラーム」表示にしてください。

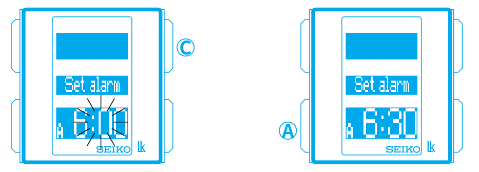


⑤また、ボタンⒶを１回押して中段表示が「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
⑥ボタンⒷを１回押し、「Adjust?」表示にしてください。
⑦ボタンⒸを１回押すと「時」が点滅表示し「アラーム時刻合わせ状態」になります。
⑧ボタンⒷを押し、その都度「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。

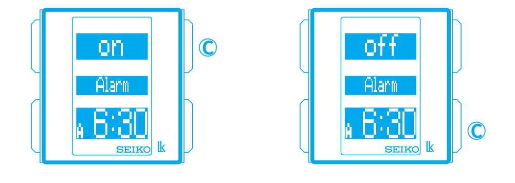


⑨合わせたいところを点滅させ、ボタンⒸを押すと点滅している数字が１つずつ進みます。
※ボタンⒸを押し続けると、速送りできます。

⑩セットが終わりましたらボタンⒶを押して「アラーム表示」にもどしてください。「on」表示が自動点灯します。押し忘れた場合でも、２～３分後には自動的に「アラーム表示」へもどります。



（4）アラームを鳴らしたい場合､鳴らしたくない場合
※「アラームモード」でボタンⒸを押すごとにセット（on）と解除（off）ができます。



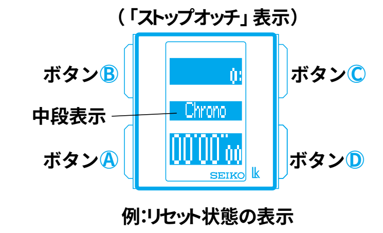
（5）鳴っているアラームを止めるには
※アラームは、セットした時間になると、20秒間鳴り続けます。
鳴っているアラームを止めたい時はボタンⒶⒷⒸⒹいずれかのボタンを押してください。

（6）「時刻・カレンダー」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒶを押して、中段表示を「Alarm?」表示にしてください。
③ボタンⒷを押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
④ボタンⒸを押１回押すと、「時刻・カレンダー」表示になります。

■ストップウオッチの使いかた

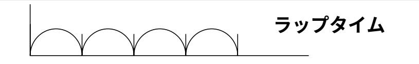
- １／100秒単位、最大計測時間は、９時間59分59秒99です。
- それ以上の計測では、10時間以上を無視して計測表示をおこない、ボタン操作にかかわらず、24時間で自動的にリセットされます。
- ラップ回数は、999回まで表示します。

（1）ボタンの名称とはたらき



例:リセット状態の表示

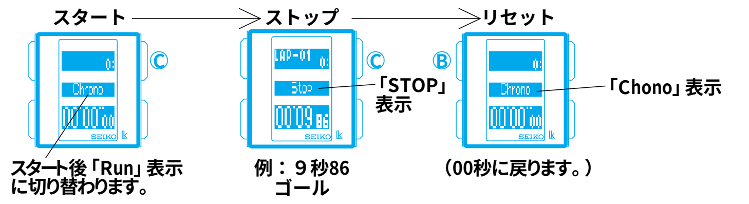
ボタン名	機能
ボタンⒶ	モード選択メニュー表示への切り替え
ボタンⒷ	ラップ／リセット
ボタンⒸ	スタート／ストップ
ボタンⒹ	内部照明の点灯 オートパネライトのセット／解除（on/off）



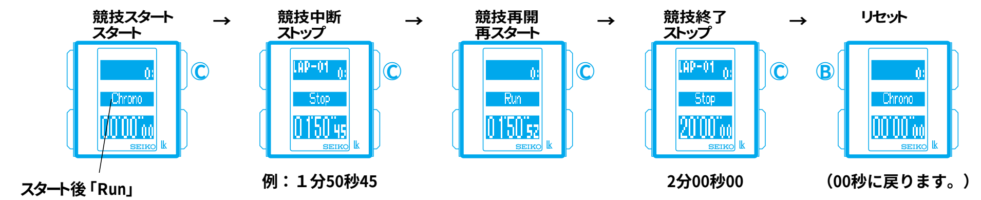
ラップタイム：途中のある時点から次の時点までの経過時間です。

（2）「時刻・カレンダー」表示から「ストップウオッチ」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒶを押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒷを押して、中段表示を「Chrono?」表示にしてください。
④ボタンⒸを押１回押すと、「ストップウオッチ」表示になります。

（3）普通の使いかた
例：100メートル競争（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓒ→Ⓑ）

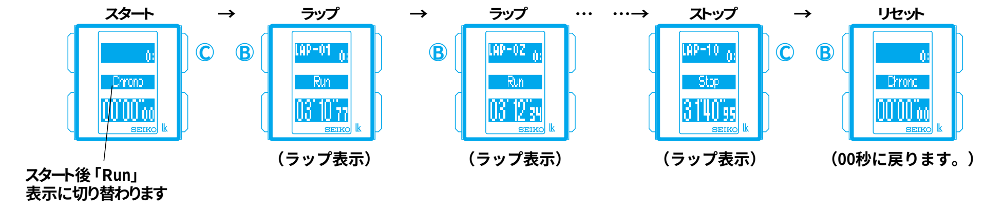


（4）時間計測を積算でおこなう場合
例：バスケットボール（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓒ→Ⓒ…→Ⓒ→Ⓑ）



※途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。

（5）ラップ計測をおこなう場合
例：10,000メートル競争（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓑ→Ⓑ…→Ⓒ→Ⓑ）



※ラップ計測後、ラップ回数が点灯し、約10秒間表示をホールドします。その後自動的にストップウオッチ計測表示にもどります。
※途中のラップは、何回でも繰り返すことができます。ラップ回数は、999回まで表示します。
以降は1000（表示：000）、1001（表示：001）、1002（表示：002）と順次表示します。
（「LAP—＊＊＊」表示で100以上の場合、「—」を消し、3桁表示します。）

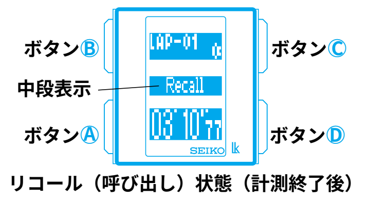
●計測中に他の表示（モード）に切り替えても正常に作動しています。計測していない場合は電池寿命が短くなりますので作動を停止させてください。

（6）「時刻・カレンダー」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと､中段表示は｢May I help you?｣のスクロール終了後､｢Chrono?｣表示になります。
②ボタンⒷを押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒸを押１回押すと、「時刻・カレンダー表示」表示になります。

■リコールの使いかた

- 計測途中、リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しができます。
- 計測後リセットしても新たに計測しない限り、メモリーは削除されません。

（1）ボタンの名称とはたらき



リコール（呼び出し）状態（計測終了後）

ボタン名	機能
ボタンⒶ	モード選択メニュー表示への切り替え
ボタンⒷ	リコール区間の選択（進み）
ボタンⒸ	リコール区間の選択（戻り）
ボタンⒹ	内部照明の点灯 オートパネライトのセット／解除（on/off）

（2）「時刻・カレンダー」表示から「リコール」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒶを１回押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒷを押して、中段表示を「Recall ?」表示にしてください。
④ボタンⒸを押して、「リコール」表示にしてください。

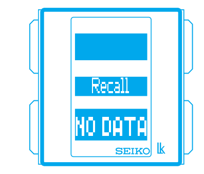
（3）リコールの使いかた
●メモリーしているラップタイムのリコール（呼び出し）は、次の順序でおこないます。
〔計測を終了してからリコールする場合〕
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Chrono?」表示になります。
②ボタンⒷを押して、「Recall?」表示にしてください。
③ボタンⒸを押すと「リコール」表示になります。
最初の［1］区間のラップタイムが表示します。
- ボタンⒷを１回押すと、次ぎのデータが参照できます。
- ボタンⒸを１回押すと、前のデータが参照できます。

※ボタンⒷを押し続けると、早送りし、最終区間のラップ表示で止まります。
※ボタンⒸを押し続けると、早送りし、最初の［1］区間のラップ表示で止まります。

〔計測中にリコールする場合〕
①ボタンⒶを押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Chrono?」表示になります。
②ボタンⒷを押して、「Recall?」表示にしてください。
③ボタンⒸを押すと「リコール」表示になります。
最新区間のラップタイムが表示します。
- ボタンⒷを１回押すと、最初のデータが参照できます。
- ボタンⒸを１回押すと、前のデータが参照できます。

※ボタンⒷを押し続けると、早送りし、最終区間のラップ表示で止まります。
※ボタンⒸを押し続けると、早送りし、最初の［1］区間のラップ表示で止まります。

●測定結果がないときはには、「NO DATA」と表示されます。



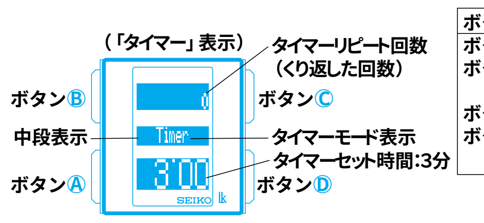
（4）「時刻・カレンダー」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Recall?」表示になります。
②ボタンⒷを押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒸを１回押すと、「時刻・カレンダー」表示になります。

■タイマーの使いかた

- １分から60分までの１分単位で設定可能なフリータイマーです。

※タイマーは、リピート（繰り返す）機能付のため、ストップさせない場合、最大10回繰り返し作動し停止します。

（1）ボタンの名称とはたらき

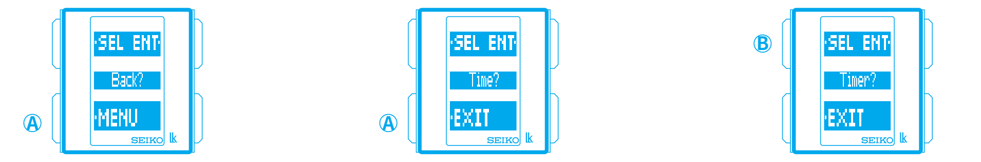


ボタン名	機能
ボタンⒶ	モードメニューへの切り替え
ボタンⒷ	タイマー時間の選択 リセット
ボタンⒸ	スタート／ストップ
ボタンⒹ	内部照明の点灯 オートパネライトのセット／解除（on/off）

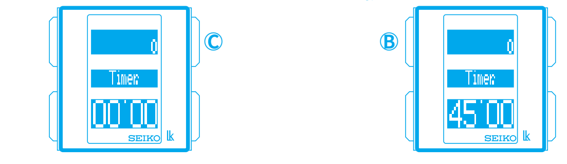
（2）「時刻・カレンダー」表示から「タイマー」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒶを１回押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒷを押して、中段表示を「Timer ?」表示にしてください。
④ボタンⒸを１回押して「タイマー」表示にしてください。

（3）タイマーの合わせかた
例：「時刻・カレンダー表示」からタイマー時間を45分にセットする場合

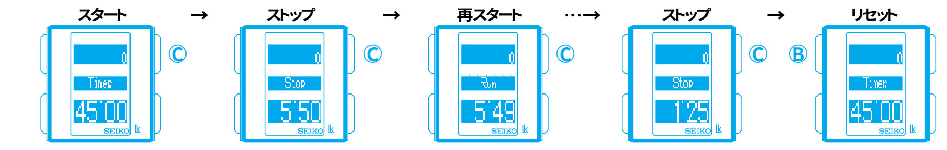
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒶを１回押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒷを押して、「Timer?」表示にしてください。



④ボタンⒸを１回押して「タイマー」表示にしてください。
⑤ボタンⒷを押して「45分」にセットします。
※ボタンⒷを押し続けると、早送り修正します。



（4）タイマーの使いかた
例：タイマー時間　45分（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓒ→Ⓒ…→Ⓒ→Ⓑ）



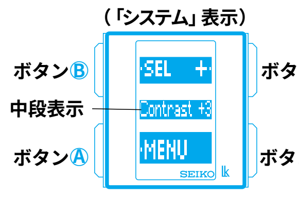
※途中のストップ、再スタートは、何回でも繰り返すことができます。
※タイムアップすると５秒間タイムアップ音が鳴ります。
※鳴っているタイムアップ音を止めたいときは、ⒶⒷⒸⒹ、いずれか１つのボタンを押してください。
※タイマーのリピート回数は、最大10回まで表示します。

（5）「時刻・カレンダー」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Timer?」表示になります。
②ボタンⒷを押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒸを１回押して「時刻・カレンダー」表示になります。

■システムの使いかた

- 表示コントラストの調整ができます。
- アラーム音は３つの中から選択することができます。

（1）ボタンの名称とはたらき



ボタン名	表示	機能
ボタンⒶ	MENU	モード選択メニュー表示への切り替え
ボタンⒷ	SEL	Contrast/Alarmの切り替え
ボタンⒸ	＋	コントラスト調整／アラーム音の選択
ボタンⒹ		内部照明の点灯 オートパネライトのセット／解除（on/off）

（2）「時刻・カレンダー」表示から「システム（コントラスト調整／アラーム音選択）」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「Back?」表示になります。
②ボタンⒶを１回押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒷを押して、中段表示を「System ?」表示にしてください。
④ボタンⒸを１回押すと、「コントラスト調整Contrast ＊＊」表示になります。次に、ボタンⒷを１回押すと、「アラーム音選択（Alarm No.＊）」表示になります。

（3）コントラスト調整の使いかた
①「System?」表示（中段表示）よりボタンⒸを１回押して「Contrast ＊＊」表示にしてください。
②さらに、ボタンⒸを押すごとに数字が替わり、コントラストの調整ができます。

－３ → －２ → －１ → ０ → ＋１ → ＋２ → ＋３
明るさ ⟶

（4）アラーム音選択のしかた
①「System?」表示（中段表示）よりボタンⒸを１回押して「Contrast ＊＊」表示にしてください。
②ボタンⒷを1回押して「Alarm No.＊」表示にしてください
③ボタンⒸを押すごとに数字が替わり、アラーム音の選択ができます。

→ １ → ２ → ３

Ⓑ
Ⓒ
SEL +
Alarm No.1
MENU

（5）「時刻・カレンダー」表示にする場合
①ボタンⒶを１回押すと、中段表示は「May I help you?」のスクロール終了後、「System?」表示になります。
②ボタンⒷを押して、中段表示を「Time?」表示にしてください。
③ボタンⒸを１回押して「時刻・カレンダー」表示になります。

■液晶パネルについて

この時計の〈液晶パネル〉は、５年をすぎますとコントラストが低下したり、数字が読みにくくなります。
お買い上げ店、またはセイコー取扱店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

■使用上のご注意とお手入れの方法

⚠ 注意

●**防水性能**
- 時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。
- 水分のついたままリュウズを回したり、引き出したりしないでください。また、ボタン操作もしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

時計の防水表示 上段：文字板 下段：裏ぶた	防水の基準 ／ 使用例	雨や洗顔など日常生活で予想される「水がかかる」程度	水に関係の深い仕事（農水産･園芸･食堂など）やスポーツ（水泳やヨット）で使用できる程度	空気ボンベを使用しない潜水（スキンダイビング）や入浴に使用できる程度	空気ボンベを使用する潜水（スキューバ潜水）に使用できる	ヘリウムガスを使用する潜水方式（飽和潜水）に使用できる
表示なし 表示なし	非防水	×	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST	日常生活用防水（3気圧防水）	○	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST WATER RESIST 5 BAR のいずれか	日常生活用強化防水（5気圧防水）	○	○	×	×	×
表示なし WATER RESIST 10 BAR のいずれか マークWATER RESIST 又は WATER RESIST 10 BAR	日常生活用強化防水（10気圧防水）	○	○	○	×	×
表示なし WATER RESIST 20 BAR のいずれか WATER RESIST 20 BAR	日常生活用強化防水（20気圧防水）	○	○	○	×	×

入浴について
10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のことに注意して下さい。
- 時計に、石けんやシャンプーがついた状態で、リュウズ操作やボタン操作を行わないでください。
（防水機能が維持できなくなることがあります）
- 温水で時計が温まりますと、多少の進み、遅れを生ずることがあります。ただし、常温にもどれば精度はもとにもどります。

⚠ 警告
- 日常生活用防水（３気圧）の時計は水の中にいれてしまうような環境での使用はできません。
- 日常生活用強化防水（５気圧）の時計は、スキンダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
- 日常生活用強化防水（10・20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

⚠ 注意

●**日常のお手入れ**
- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
- 時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取ってください。汚れも取れ、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。

〈革バンド〉
- 革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。こするようにふくと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈金属バンド〉
- 金属バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。

〈軟質プラスチックバンド〉
- ウレタンバンド等軟質プラスチックでできているバンドは、特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどいときには石鹸水で洗ってください。化学製品ですので溶剤によって変質することがあります。通常数年のご使用で材質が硬化してきたり、色があせたりする場合がありますので、その際は新しいバンドに交換してください。

●非防水時計は、水（水道の水はね、雨、雪など）や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸収性のよい布などで水分をふきとってください。
●日常生活用強化防水時計は、海水中などでの使用のあと、化学薬品類を使用せず、ためた真水で洗ってください。
●回転ベゼルつきの時計の場合、ベゼル下に汚れなどがたまり、回転が重くなることがありますので清潔にしてご使用ください。

⚠ 注意

かぶれやアレルギーについて
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- かぶれの原因として考えられるのは、
  1．金属・皮革に対するアレルギー
  2．時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
- 万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

●**その他、携帯上ご注意いただきたいこと**
- バンドの着脱の際に中留めなどで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 転倒時や他人との接触などにおいて､時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますので､ご注意ください。
- 特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合もありますので、十分にご注意ください。

⚠ 注意
- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって大切な衣類や手・首などを傷つける事がありますので、ご注意ください。

●保管について
- 「－10℃～＋50℃からはずれた温度」下で長時間放置すると、機能が低下したり、停止する場合があります。

※この時計は、気温５℃～35℃において腕につけた時に安定した精度を得られるように調整してあります。よって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどれば元の精度にもどります。
- 磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
- 強い振動のあるところに放置しないでください。
- 極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- 薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの＝ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など＝水銀、ヨウ素系消毒液など）
- 温泉や、防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

●定期点検について
- ながくご愛用いただくために、２～３年に１度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。
点検の結果によっては調整・修理を必要とする場合があります。

●部品（電池）交換の時は、「セイコー純正部品（電池）」とご指定ください。
- 定期点検の際にはパッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■電池についてのお願いとご注意

１．電池寿命切れ予告機能
この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。
「時刻･カレンダー表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅になりますと2～3日中に時計が止まる可能性があります。お早めにお買い上げ店またはセイコー取扱店で電池交換をご依頼ください。
（1）電池寿命
この時計は新しい正常な電池を組み込み、基本時計（時刻・カレンダー表示）としてお使いの場合は、約２年作動します。ただしそれ以外の機能をお使いの場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
（アラームを１日１回（20秒）、内部照明の点灯を１日３回（各３秒）ご使用した場合、電池寿命は約1.6年になります）。
（2）最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
（3）電池交換
①電池交換は、必ずお買い上げ店で「セイコー純正SB電池」とご指定の上、ご用命ください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料となります。
④電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。

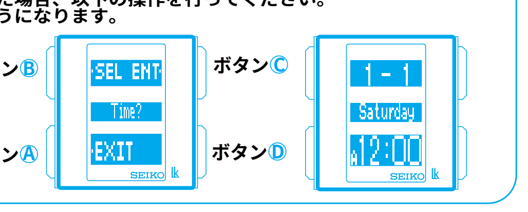
⚠ 警告
1．お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2．やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
3．万一飲み込んだ場合は、体に害があるためただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意
①破裂、発熱、発火、などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
②この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
③「常温（５℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがあります。また、液晶パネルのコントラストが短くなったり、パネライトの点灯時間が短くなることがあります。

■電池交換後のお願い（システムリセット）

- 電池交換後や万一異常な表示（読めない表示など）をした場合、以下の操作を行ってください。
時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

●システムリセットのしかた
- ⒶⒷⒸⒹ4つのボタンを同時に２～３秒間押し続けてください。表示が消え、ボタンを離すと、モード選択メニュー表示（Time?）になります。ボタンⒶを押すと「1-1 saturday A12:00」の表示になります。

ご使用前に下記の順番に操作してください。
①時刻・カレンダーの合わせ
②アラームの設定等
それぞれの項目を参照ください。